



1998年長野オリンピック

1998 年の長野オリンピックは、多くの感動を日本にもたらした大会でした。特にジャンプ競技場では、日本の選手たちが見せた熱い戦いが日本中を沸かせました。団体ラージヒルでは船木和喜選手や原田雅彦選手を中心とした日本チームが金メダルを獲得。船木選手は個人ラージヒルでも金メダルを手にし、二冠の快挙を達成しました。

また、スピードスケートでは清水宏保選手が男子 500mで金メダルを獲得し、フリースタイルスキー・モーグルでは里谷多英選手が日本女子初の冬季オリンピック金メダルに輝くなど、日本選手たちが次々と快挙を成し遂げました。この大会で日本は過去最多となる 10個のメダルを獲得し、国民に多くの感動と誇りを与えました。

1998年長野冬季オリンピック成績

スペシャルジャンプ

団体 金 日本 (岡部孝信、齊藤浩哉、原田雅彦、船木和喜)

個人ノーマルヒル 銀 船木和喜 5 原田雅彦

個人ラージヒル 金 船木和喜 5 原田雅彦 6 岡部孝信

ノルディックコンバインド (複合)

団体 5 日本 (萩原次晴、森敏、富井彥、萩原健司)

個人 4 萩原健司 6 萩原次晴



INFORMATION

P 第一駐車場 92 台 / 第二駐車場 : 51 台

大人 (高校生以上) 小中学生

一般	¥740	¥440
団体 (15名以上)	¥680	¥420

(リフト乗車と展望台エレベータ往復料金)

4月中旬～11月

8:30～16:30

12月下旬～3月

9:00～15:30

※4月上旬～中旬・12月上旬～下旬・大会開催時はリフトを運休します。
※上り最終時間は、閉館の 20 分前です。



@hakubajump



@白馬ジャンプ競技場



@hakuba.jump

お問い合わせ

0261-72-7611



白馬ジャンプ競技場 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城 3609

ACCESS



About SKI JUMPING

白馬ジャンプ競技場について

白馬ジャンプ競技場は昭和 62年に基本設計を行って以来、6年の歳月をかけて平成 4年 11月に完成しました。その翌年に待望のオールシーズン化も完成し、1998年長野冬季オリンピックでは、感動のステージとして、日本はもちろん世界的にも脚光を浴び広く知られました。現在も国際大会や国内大会が開催され、トップアスリートから次代を担うジュニア層まで、多くの選手のトレーニング拠点となっています。

ノーマルヒル・ラージヒルの間にあるリフトに乗車するとスタートタワーの入り口に到着し、スタートタワー 3階から地上約 140メートルの高さにあるラージヒルのスタート地点や、タワー 2階からノーマルヒルのスタート地点まで行くことができるため、選手がスタートする時に見える景色やその高さを体感できます。また、スタートタワーの中 2階(2階から階段を上がった先)にあるオリンピックギャラリーでは、長野冬季オリンピック・パラリンピックに関する資料を展示しています。



スキージャンプ

いかに遠く美しく飛ぶかを競う競技で、飛距離・空中のフォーム・着地姿勢で順位が決まります。ジャンプ台の大きさや形状、K点までの距離などにより 5種目に分類されます。

ノルディックコンバインド

ノルディックコンバインドはジャンプとクロスカントリーを組み合わせた競技です。ジャンプの得点差をタイム差に換算し順次スタートするため、ゴール直前の白熱した駆け引きが魅力です。

VENUE MAP

白馬ジャンプ競技場 場内マップ

① リフト乗り場



長さ240m／高低差84mのペアリフトに乗って片道5分間の空中散歩。実際に選手が滑り降りる斜面を直近で見ることができます。

② 観覧ステージ



スタート地点
観覧ステージ
展望エレベーターに乗って、スタート地点へ。スタート地点には選手達と全く同じ景色を体感できるよう、観覧ステージが設けられています。

③ オリンピック聖火台



1998年2月に開催された長野冬季オリンピックの聖火台。開催期間中、燃え続けた炎は選手達に勇気と励ましを与えるました。

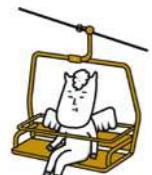
④ モニュメント



日本オリンピック通算100個目の金メダルは白馬で獲得。これを記念して制作されました。上下逆さまに見た時に、首から下げたメダルをイメージしています。

見つけてみよう！ラッキーアイテム

金色のNo.1リフト



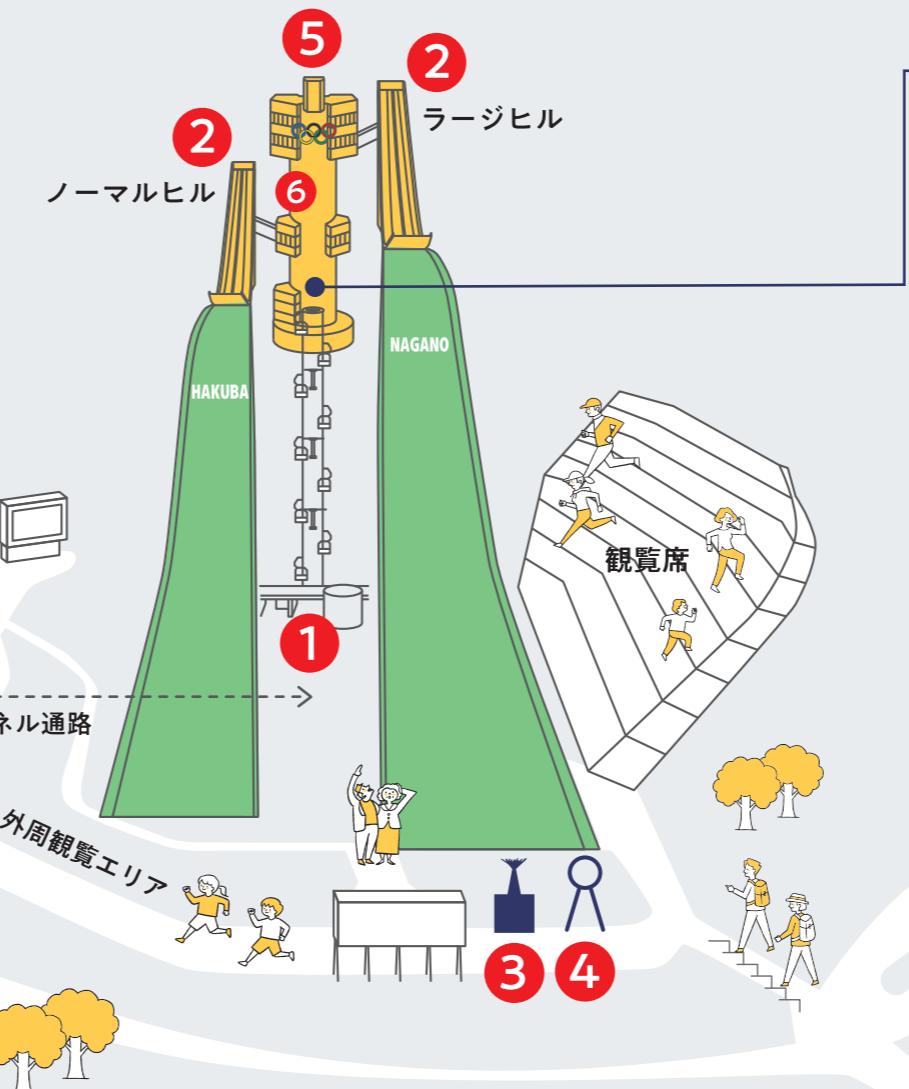
白馬村キャラクター「ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男三世」

ジャンプ団体戦 金メダリスト4人の足型



毎年多くのアスリートや学生さんが「必勝・合格祈願」の為、白馬ジャンプ競技場を訪れています。これに乗れば願いが叶うかも....。

観覧ステージでは
選手と同じ眺めが見える！



DATA

データで見る白馬ジャンプ競技場

	ノーマルヒル (旧70m級)	ラージヒル (旧90m級)
A 全長	318m	385m
B 標高差	107m	138m
C 最大斜度	36.5°	37.5°
D 助走路	88m	109m
K K点(建築基準点)	90m	120m
HS ヒルサイズ	98m	134m
ティケオフスピード	約 82km/h	約 92km/h

EVENT

スキージャンプ競技場の 利用について

白馬ジャンプ競技場は競技利用以外にも様々な用途でご使用いただけます。研修や、音楽イベントなどの各種催事利用可能で、費用や利用用途についてなど、詳しくは白馬ジャンプ競技場までお問い合わせください。

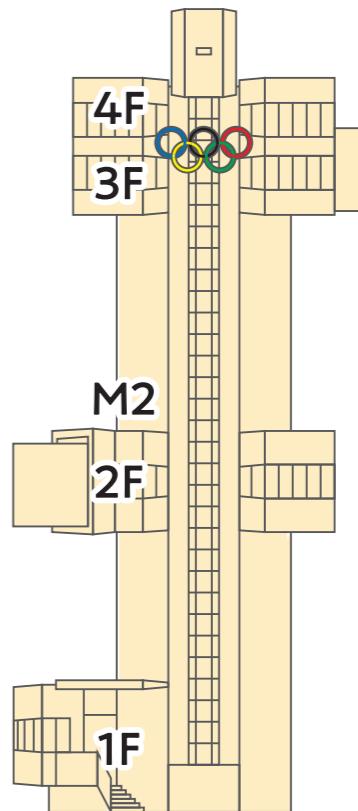
イベントについてのお問い合わせは
0261-72-7611



START TOWER

⑤スタートタワー

リフトに乗って行くことができるスタートタワー、高さは59.1m。展望エレベーターはジャンプスキーが入るよう、天井が高く設計されています。4階からの展望は絶景。



4F

・展望ラウンジ

3F

・ラージヒルラウンジ
ラージヒルスタートゲートへ

M2

・⑥白馬オリンピックギャラリー
長野オリンピック
パラリンピック
記念展示スペース

2F

・ノーマルヒルラウンジ
ノーマルヒルスタートゲートへ

1F

・エレベータホール
歴代冬季オリンピック
公式ポスター展示

OLYMPIC GALLERY

⑥白馬オリンピックギャラリー



白銀に輝く白馬を舞台に行われた長野冬季オリンピックとパラリンピック。金メダルをはじめ、貴重な資料や数々の映像・写真を展示しており、見る者の胸に当時の熱い戦いの記憶がよみがえることでしょう。